

都市再生整備計画（第4回変更）

あんじょうさくらいえきしゅうへん
安城桜井駅周辺地区

愛知県 あんじょう 安城市

平成20年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	愛知県	市町村名	安城市	地区名	安城桜井駅周辺地区	面積	130.2 ha
計画期間	平成 16 年度 ~ 平成 20 年度	交付期間	平成 16 年度 ~ 平成 20 年度				

目標	
福祉環境が充実し、誰もが快適に暮らせる南部地域の拠点再生	
目標 1	ユニバーサルデザインに配慮した公共施設整備により快適な生活環境を創出し、定住人口の増進を目指す。
目標 2	鉄道高架化及び街路等の整備改善により交通アクセス利便性、歩行者等の交通安全性の向上を図り、市民交流の促進を目指す。
目標 3	南部地域の核となる駅周辺に、複合福祉施設を整備し、多世代の市民が快適に暮らせる地区として再生を図る。

目標設定の根拠	
まちづくりの経緯及び現況	
<p>本地区の名古屋鉄道碧海桜井駅の周辺は、昭和42年の安城市との合併までは、旧碧海郡桜井町の町民の生活には欠かせない中心地であった。そのことから鉄道駅東側には旧来からの狭あい道路の多い基盤整備水準の低い集落が存在し、西側には、一部集落が点在していたところへ南北軸となる道路整備や鉄道駅に近く利便性に優れていることから、急速に無秩序な宅地化が進みつつあった地区である。</p> <p>第7次安城市総合計画では、本市の都市像として「市民とともに育む環境首都・安城」を目指すこととしている。また当地区は、本市の主要な鉄道駅の一つに上げられる駅を含む地区であり、優先的に市街地整備を進め、商業地や優良な宅地の形成を進める地区として位置付けが与えられている。当地区には、「桜井商店街振興組合」によるイベントが年2回開催されており、また公的補助を受け商店街の振興について調査・研究を実施し、まちの活性化を図っているところである。加えて商店街振興組合員も当地区のまちづくりに参加している状況である。都市再生整備計画の策定には、既存の「まちづくり委員会」及び「まちづくり部会」の協議結果・提案を反映し、市民参加と公民協働のまちづくりを目指し、庁内協議により計画策定を行った。</p>	

課題	
<p>人口減少・高齢化の時代において、鉄道駅を中心に公共施設を再整備し、多世代の市民が継続的に快適な暮らしが出来るよう、駅西側に予定されている複合的な福祉施設を核とした拠点再生を図ることが課題である。</p> <p>地区内に散在している住居系、商業系、工業系の機能を純化するため基盤整備を行ない、地域分断の解消を図るため鉄道を高架化し、市民生活の安定化を強化することが必要である。「サステナブルタウン桜井」を創出するため、不可欠な要素となる教育環境をより安全で快適に整備することが必要である。</p> <p>既存の公共交通、公共施設の再整備を図り、市民交流の空間を創出することが必要である。</p>	

将来ビジョン(中長期)	
<p>第7次安城市総合計画において、「市民とともに育む環境首都・安城」を目指すべき都市像としている。</p> <p>都市計画マスタープランにおいて、本市南部の「地域拠点」として位置付けのもとに、都市機能の集約化、快適な住宅環境の形成、鉄道高架化、街路等の整備・強化等が方針とされている。</p>	

目標を定量化する指標								
指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値		
					基準年度		目標年度	
指標 1 福祉拠点周辺のバリアフリー化	km	施設周辺の(1km)のバリア等の解消延長	福祉拠点利用者に配慮した道路空間の創出を目指す。	0	H16	1.6	H20	
指標 2 鉄道駅の利便性	人/日	鉄道駅の1日当り乗降客数	駅利用者の利便性を高める整備を行ない、地区内外の市民交流の促進を図る。	3,600	H16	3,700	H20	
指標 3 複合福祉施設の充足度	km/人	1人当り施設利用者のアクセス距離	地区内および地区周辺の複合福祉施設利用者を対象に、施設の利便性に基づく満足度を高めることを目指す。	7.9	H16	1.9	H20	

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1 < 複合福祉施設周辺のバリアフリー化の促進 ></p> <p>福祉施設利用者を対象にバリア等の解消をするために、福祉環境の核となる複合施設(地域交流センター、老人福祉センター、子育て支援センター、保育園、身体障害者デイサービスセンター)のバリアフリー化を図り、合わせて土地区画整理事業により街路、駅前広場、区画道路等、弱者へ配慮した移動空間を形成する。</p>	<p>高質空間形成施設(基幹事業/西徳用水上部利用、トイレ)、高次都市施設(基幹事業/地域交流センター)、土地区画整理事業(基幹事業・関連事業)、地域創造支援事業(提案事業/老人福祉センター、子育て支援センター、保育園、身体障害者デイサービスセンター)、まちづくり活動推進事業(提案事業/専門家派遣・まちづくり委員会運営費)、街路事業・道路事業(関連事業)、公営住宅等整備事業(関連事業)</p>
<p>整備方針2 < 鉄道駅周辺のアクセス利便性の向上 ></p> <p>街路事業及び道路事業を活用し、鉄道の高架化を行ない、合わせて土地区画整理事業により駅周辺の公共施設整備(駅前広場、街路、区画道路)を行う。</p>	<p>公園(基幹事業/堀内公園)、土地区画整理事業(基幹事業・関連事業)、地域生活基盤施設(基幹事業/高架下自転車駐車場)、高質空間形成施設(基幹事業/西徳用水上部利用、トイレ)、地域創造支援事業(提案事業/堀内公園改築)、関連まちづくり活動推進事業(提案事業/専門家派遣・まちづくり委員会運営費)、街路事業(関連事業)、道路事業(関連事業)</p>
<p>整備方針3 < 誰もが快適に暮らせる生活環境の創出 ></p> <p>生活環境の向上を図るため、公園・緑地・特徴のある街路整備により、生活に潤いを与え、誰もが安心して快適に暮らせるまちづくりを公民協働で創出する。</p>	<p>公園(基幹事業)、下水道(基幹事業)、高質空間形成(基幹事業/西徳用水上部利用)、土地区画整理事業(基幹事業・関連事業)、地域創造支援事業(提案事業/新設小学校関連事業)、まちづくり活動推進事業(提案事業/専門家派遣・まちづくり委員会運営費)</p>
<p>その他</p> <p>地区の特性は…… この桜井地区は、鉄道駅を中心に栄えた東側に、駅前商店街と密集した住宅街が混在しており、現在まさに都市再生のメスを必要とする地区と、駅西側は無秩序に開発されている地区とを包含した、2つの顔をもった地域である。 したがって、内包する問題も多極化、複層化しつつあり早急な整備が急務とされている。</p> <p>現在の整備ツールは…… この中で事業化されている土地区画整理事業は、住宅先行建設区の設定をはじめ、「みどり」との共生を目指しつつ、グリーンツーリズムの考えによるクラインガルテン構想にもとづく集合農地区、そして商業活性化のための大型商業施設誘致街区、ふるさとの顔づくりモデル事業による駅周辺の公共施設整備などあらゆるツールを駆使して再生・整備・開発を図るものである。</p> <p>重要となるキーワードは…… 一般的な面整備、宅地開発事業等では一度に多くの宅地が供給された場合、同じ年代の住民が一度に入植し、同時に高齢化をたどり、そして最後はまちの空洞化を誘引するケースが多い。当地区の場合、駅東の従来からの住宅密集地区と西側の若年入植者との混成となり、その双方がそれぞれ世代交代しようとも多世代間においてサステナブルなまちづくりを行うためのキーワードは「福祉」にほかならない。 そこで福祉拠点の整備を中心に、先行的に街びらきを実施するエリアとし、ユバーサルデザインの考え方を随所に盛り込んだ「駅周辺のまち」づくりを指向し、パブリックコメントを通じ住民主導による公民協働のまちづくりを実現するものである。 そこで、この自由度の大きい、まちづくり交付金を最大限に活用し、ソフト事業・ハード事業において第1段階として別掲の事業を推進するものである。 当市では独自に平成15年度より小学校1年生を対象に小人数学級編成(30人程度)を実施し、さらに昨年度から小学校2年生にも拡大し、きめ細かな教育体制を実現している。また、子供たちの安全な教育環境を確保するため、耐震化された校舎の整備を図るものである。 また、既存の公共交通、公共施設のバリアフリー化を含めたリニューアルを図り、利便性と美観性を高め、区画整理事業による新たな地域との交流を促す空間を創出することにより、駅利用者の増進と地域の福祉活動への関心を高める。 実践しているソフトウェアは…… この桜井地区には、市民参加の実現と調和のとれた活気あるまちづくりを進めるため、住民や諸団体の代表者を構成員とする「まちづくり委員会」が平成10年から活動を行っている。 その後、さらに広く住民の意見を反映するべく、まちづくりについて深く調査研究する必要性が求められ、テーマごとに議論を深めてゆくまちづくり部会が設置された。「商業・産業」、「環境・景観・歴史」、「福祉・バリアフリー」の3部会により、一般公募委員も含めボランティア組織で学習や勉強会を進め、行政サイドに提言できるまでレベルアップが図られ「ひとづくり」も並行して組織的に推進している。</p> <p>事業期間終了後は…… 「ひとづくり」によりまちづくりの知識や人とのつながりを広げていった住民自身が、「福祉」を中心として、面的に整備された街をより快適に、永続的に発展させていくことができる。</p>	

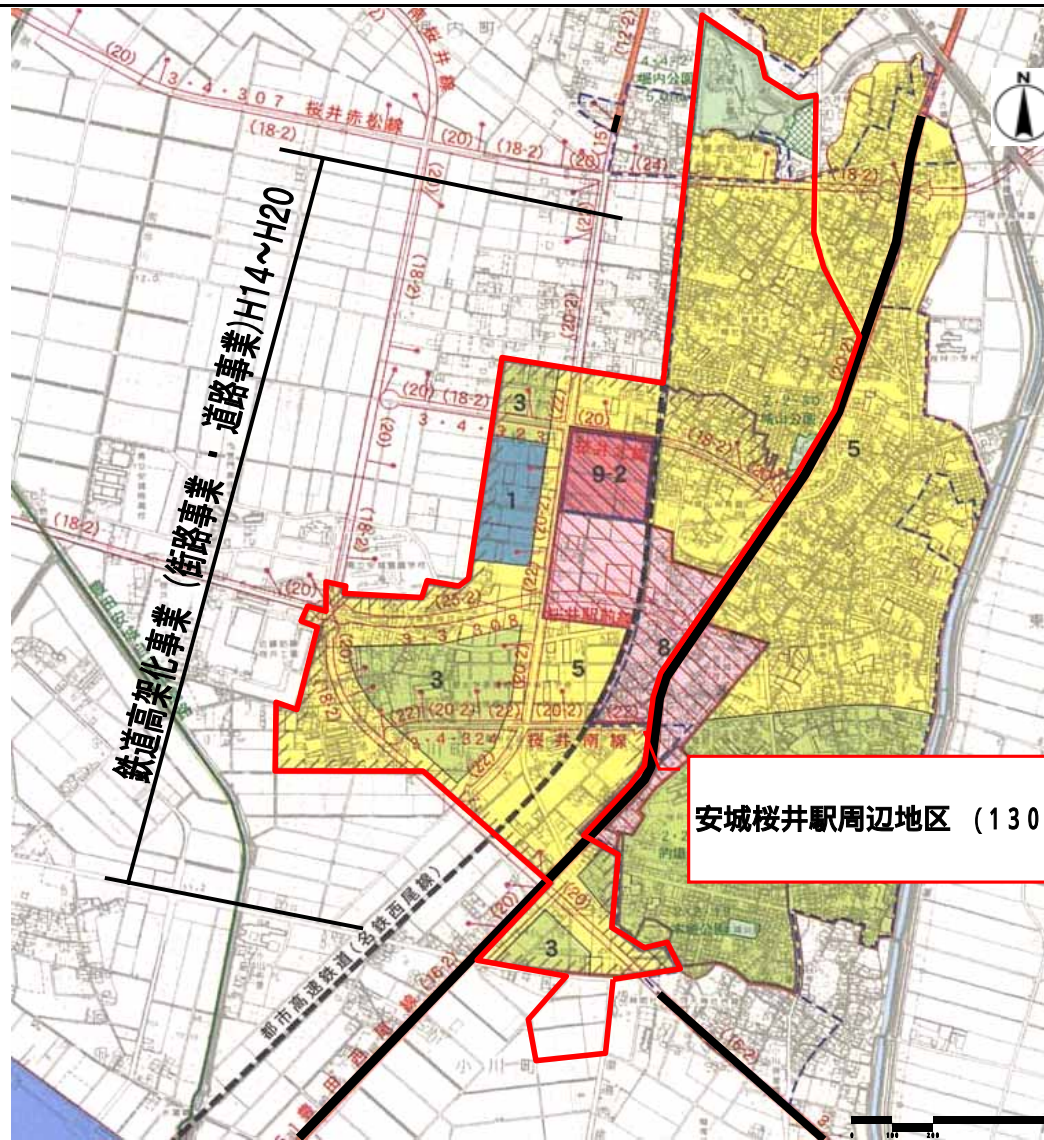
安城桜井駅周辺地区(愛知県安城市)

面積

130.2 ha

区域

安城市桜井町、姫小川町および小川町の各一部



鉄道高架事業(街路事業・道路事業)H14~H20

安城桜井駅周辺地区 (130.2Ha)

安城桜井駅周辺地区(愛知県安城市) 整備方針概要図

目標	福祉環境が充実し、誰もが快適暮せる南部地域の拠点再生	代表的な指標	福祉拠点周辺のバリアフリー化 (km)	0	(16年度)	1.6	(20年度)
			鉄道駅の利便性 (人/日)	3600	(16年度)	3700	(20年度)
			複合福祉施設の充足度 (km/人)	7.9	(16年度)	1.9	(20年度)

